

第13回

データ・AI利活用における留意事項 (3) 法の世界とデータ利活用

DDASH-L



瀬領 真悟 (競争法)
野々村 和喜 (民法)

令和4年7月10日

法の世界とデータ利活用

1

◆ 持ち帰ってほしいこと

きょう紹介する法律の内容・詳細をおぼえてほしいのではない(!)

1. データ利活用は、法的にみてどのような危険をはらむのか？
2. そうした危険への対処として、どのような考え方のもとで、どのような法制度が用意されているのか？

この大枠(イメージ)をつかんでおくことが、円滑・安全なデータ利活用をできるデータサイエンティストとして不可欠

◆ 取り上げる内容

データ利活用やAI活用によって……

1. 個人のプライバシーが侵害される危険

- 個人情報保護法 (2003年制定、2005年全面施行、最新改正2020年)
- 民事損害賠償責任 (平成29年最高裁判決ーベネッセ顧客情報漏えい事件)

2. 市場の公正さが損なわれる危険

- 独占禁止法

DDASH-L

◆ 個人のプライバシーの法的保護（野々村）

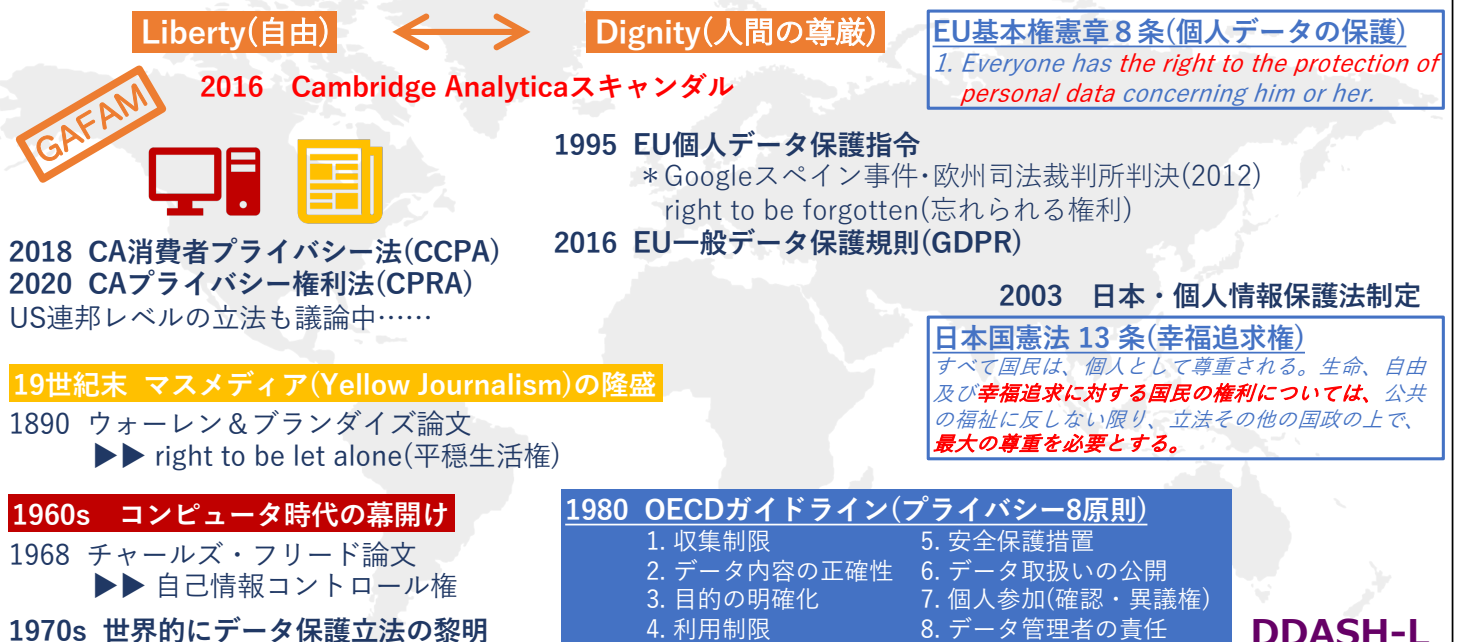
1. プライバシー(個人情報)保護のおおまかな歴史
2. 日本の個人情報保護法の概要
 - 法律の骨格
 - 取扱いが規律される「個人情報」の意味
 - 「個人情報取扱事業者」が負う義務
 - データ利活用はどのようにして可能か？
3. データ漏えいと民事損害賠償責任
 - プライバシー(個人情報)保護と法的サンクション
 - ① 個人情報保護法違反の刑事責任と、② 外国法の域外適用
 - ③ 不法行為(民法709条)に基づく民事損害賠償責任
 - ベネッセ顧客情報漏えい事件(平成29年最高裁判決)
4. まとめ

◆ ビッグデータ・AIと公正な市場（瀬領）

DDASH-L

個人のプライバシーの法的保護

◆ プライバシー(個人情報)保護のおおまかな歴史



DDASH-L

◆ 法律の骨格

個人情報保護法 1条(目的)

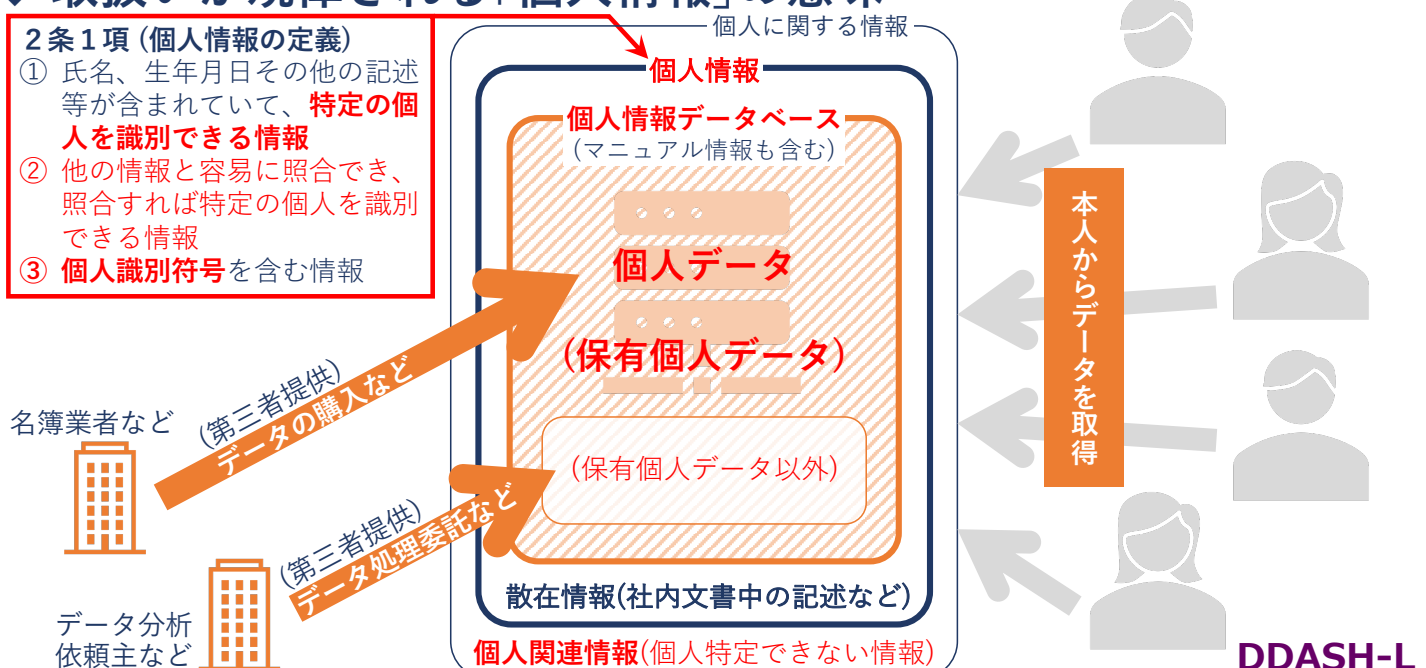
この法律は、デジタル社会の進展に伴い個人情報の利用が著しく拡大していることに鑑み、個人情報の適正な取扱いに関し、……個人情報を取り扱う事業者及び行政機関等について**これらの特性に応じて遵守すべき義務等を定める**とともに、**個人情報保護委員会を設置することにより**、行政機関等の事務及び事業の適正かつ円滑な運営を図り、並びに**個人情報の適正かつ効果的な活用が新たな産業の創出並びに活力ある経済社会及び豊かな国民生活の実現に資するものであることその他の個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護することを目的とする。**



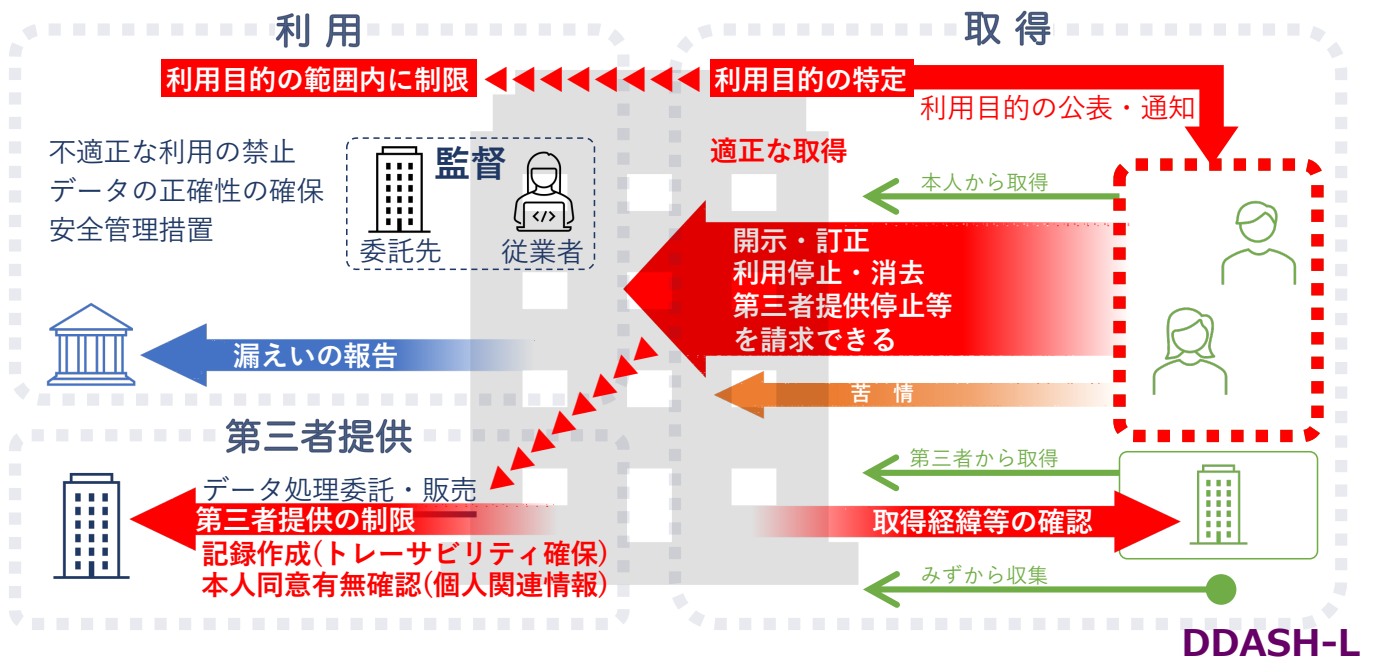
◆ 取扱いが規律される「個人情報」の意味

2条1項(個人情報の定義)

- ① 氏名、生年月日その他の記述等が含まれていて、**特定の個人を識別できる情報**
- ② 他の情報と容易に照合でき、照合すれば特定の個人を識別できる情報
- ③ **個人識別符号**を含む情報



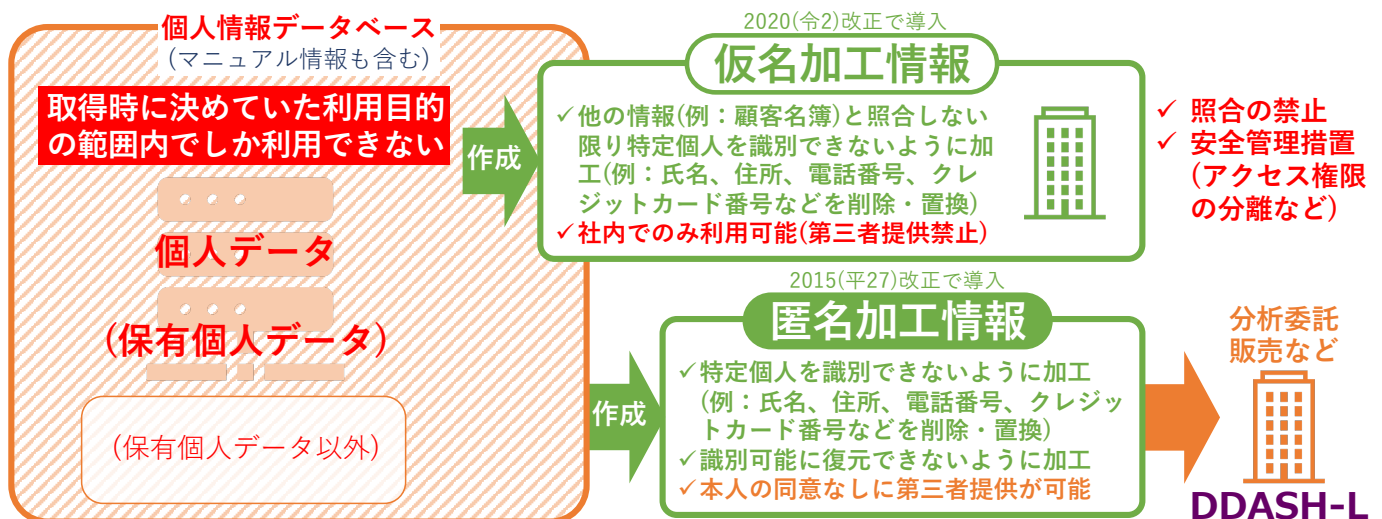
◆「個人情報取扱事業者」が負う法律上の義務の内容



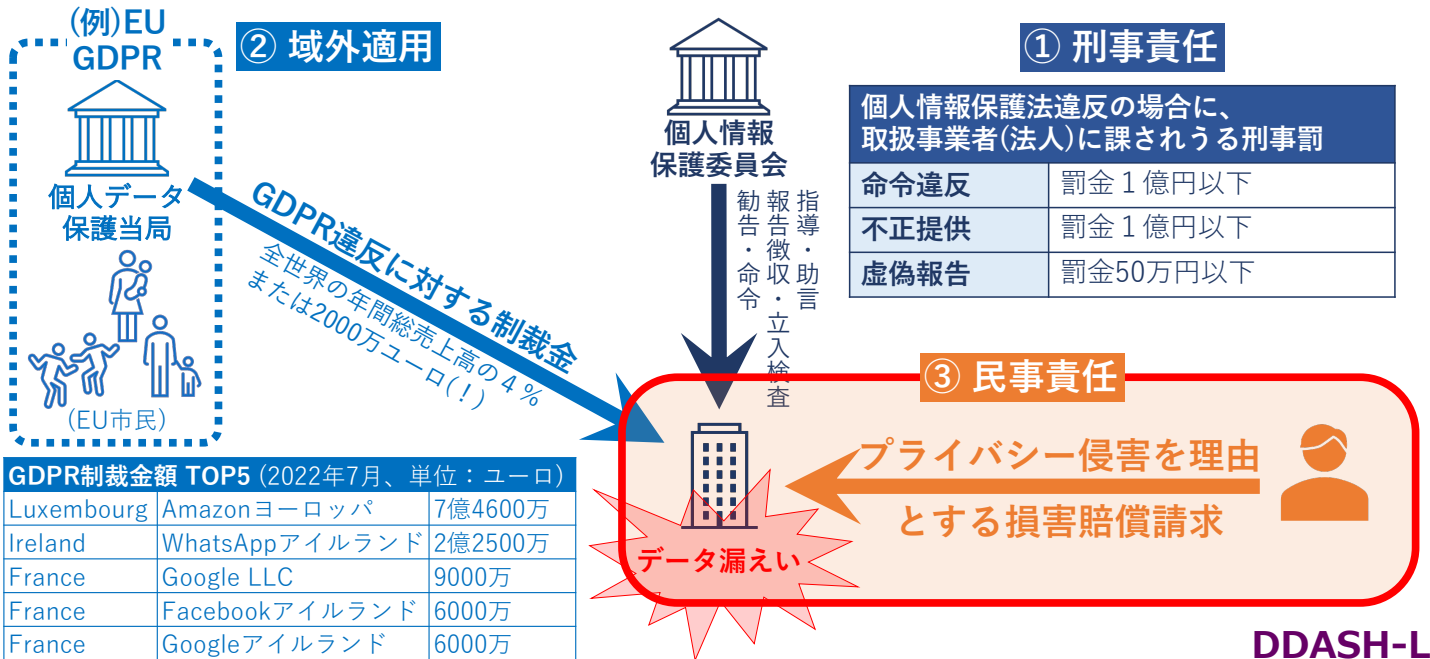
◆ データ利活用はどのようにして可能か？

再掲－個人情報保護法1条(目的)

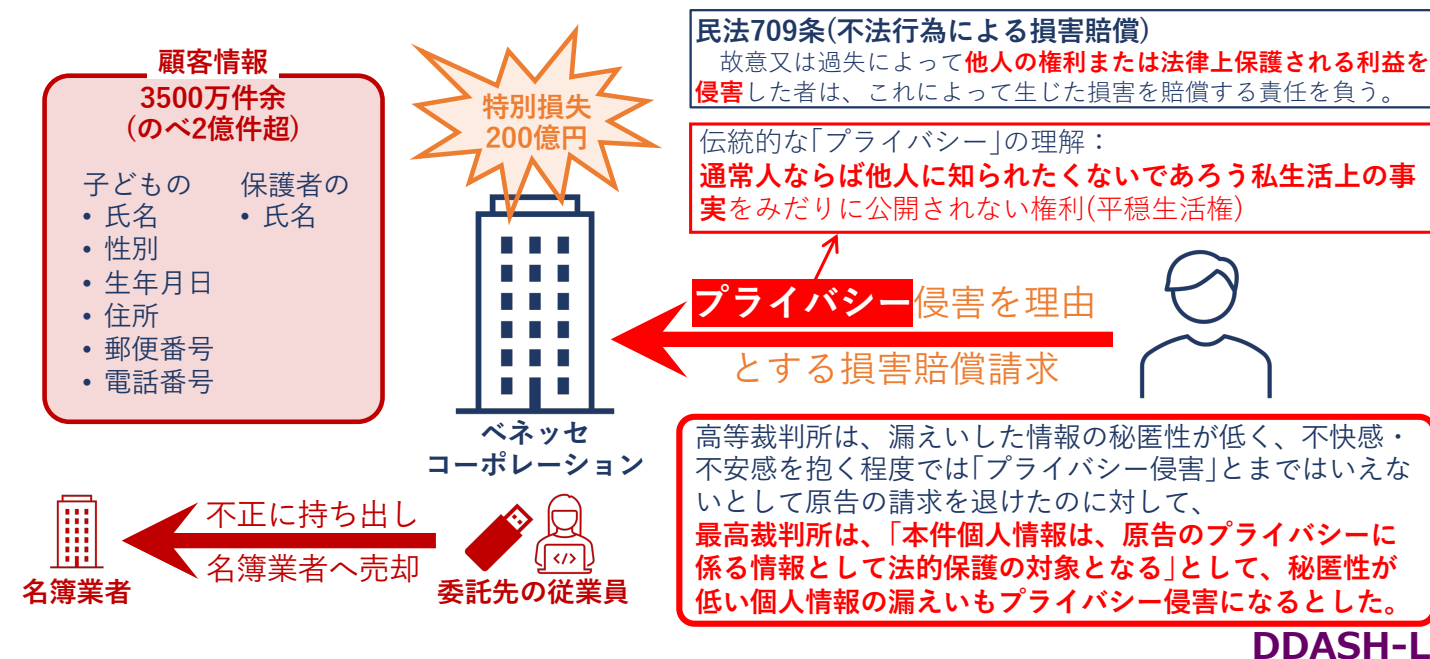
この法律は、デジタル社会の進展に伴い個人情報の利用が著しく拡大していることに鑑み、……個人情報の適正かつ効果的な活用が新たな産業の創出並びに活力ある経済社会及び豊かな国民生活の実現に資するものであることその他の個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護することを目的とする。



◆ プライバシー(個人情報)保護と法的サンクション



◆ ベネッセ顧客情報漏えい事件(最高裁平29・10・23判決－判時2351号7頁)



◆ まとめ－未来のデータサイエンティストへ

1. プライバシー(個人情報)の保護は、憲法に基礎付けられた「人間の尊厳」、人が望むように生きられるための自己情報コントロール権を守るためのもの
2. 個人情報は、本人が納得した利用目的の範囲、第三者提供の範囲でのみ許される。本人によるコントロールがすみずみまで及ぶ仕組みになっている
3. そのうえで、「匿名加工情報」、「仮名加工情報」の仕組みによって、有益なデータ利活用が促進されることが期待されている
4. 不適切な個人情報の取扱いによって課せられる法的サンクションは、きわめて重い。個人情報漏えいに関して、民事損害賠償責任も認められる方向に展開している
5. データサイエンティストは、これからの経済社会の発展にとって不可欠の人材である

DDASH-L